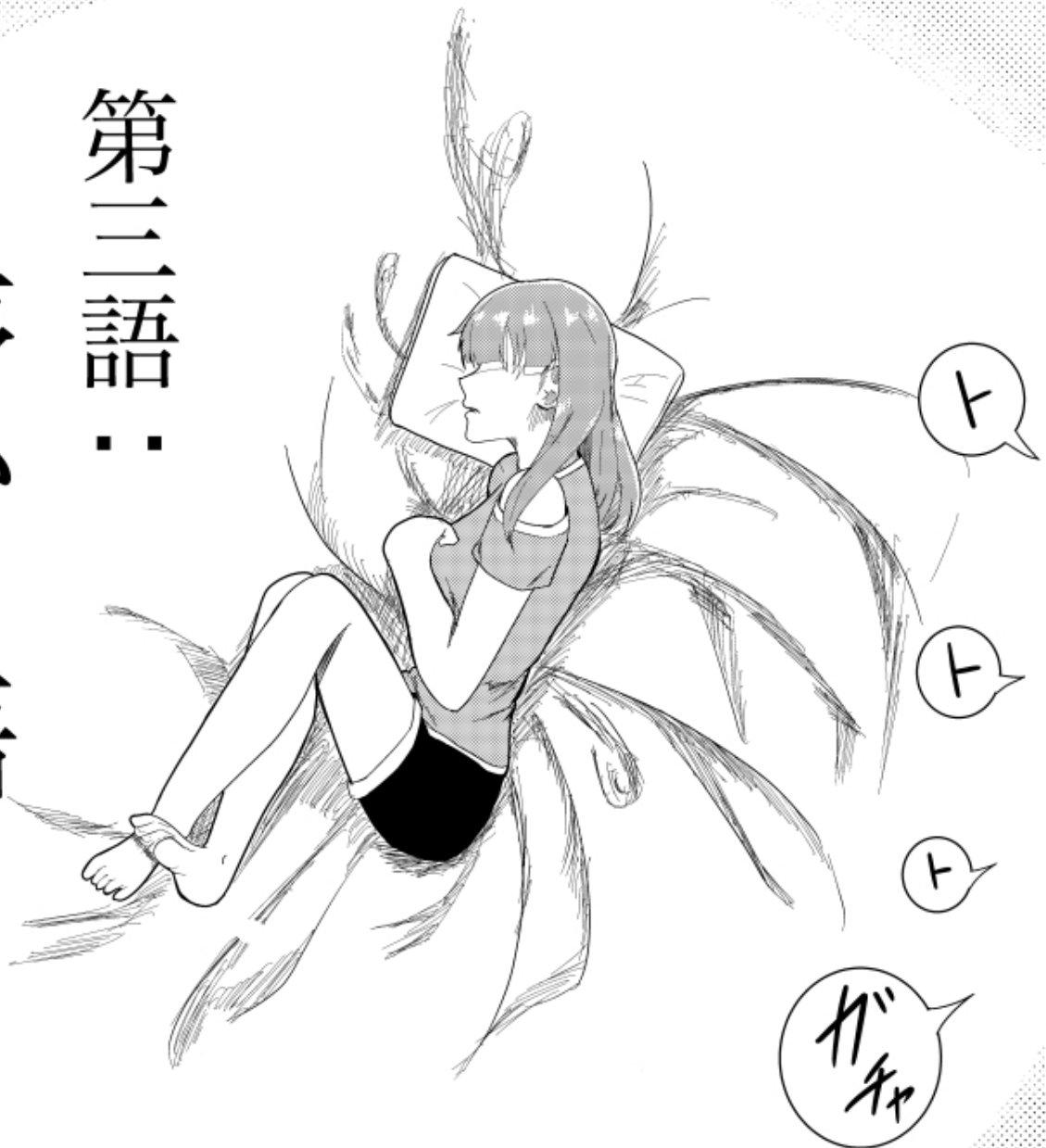
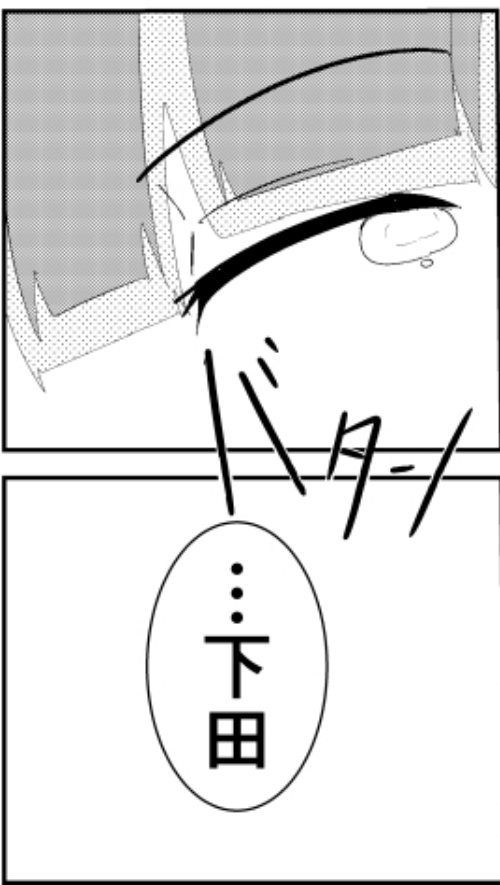
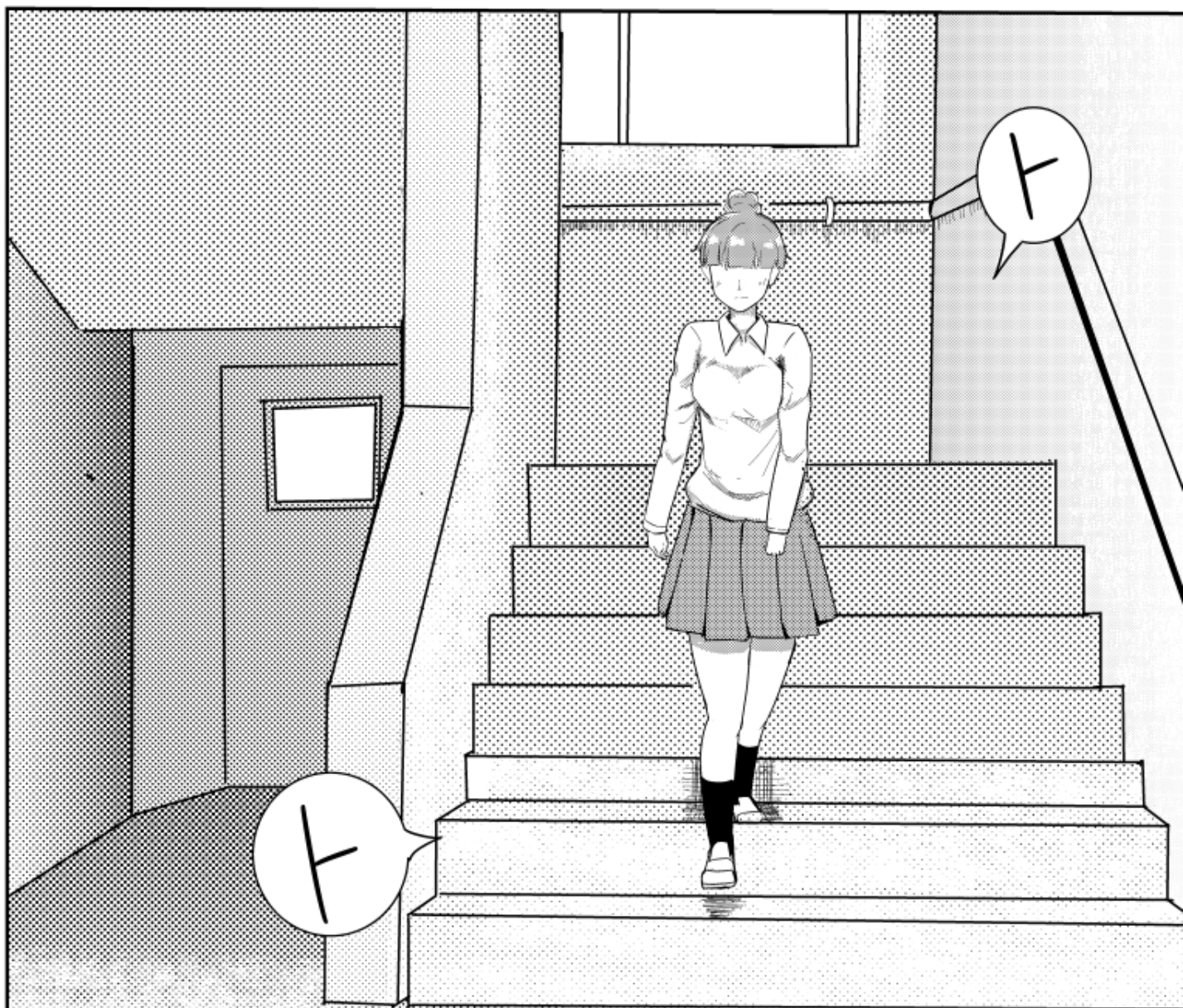


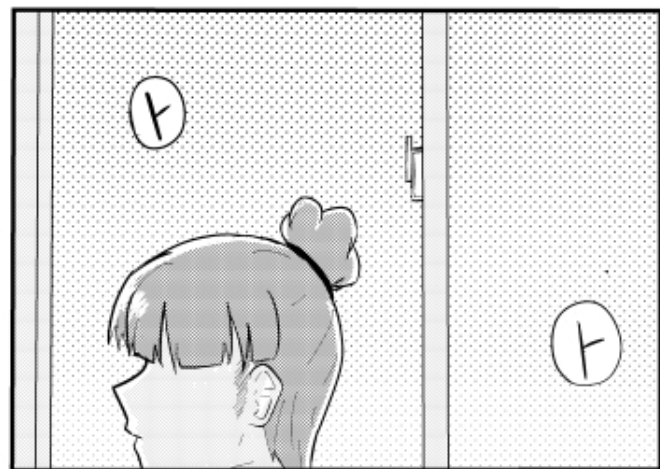
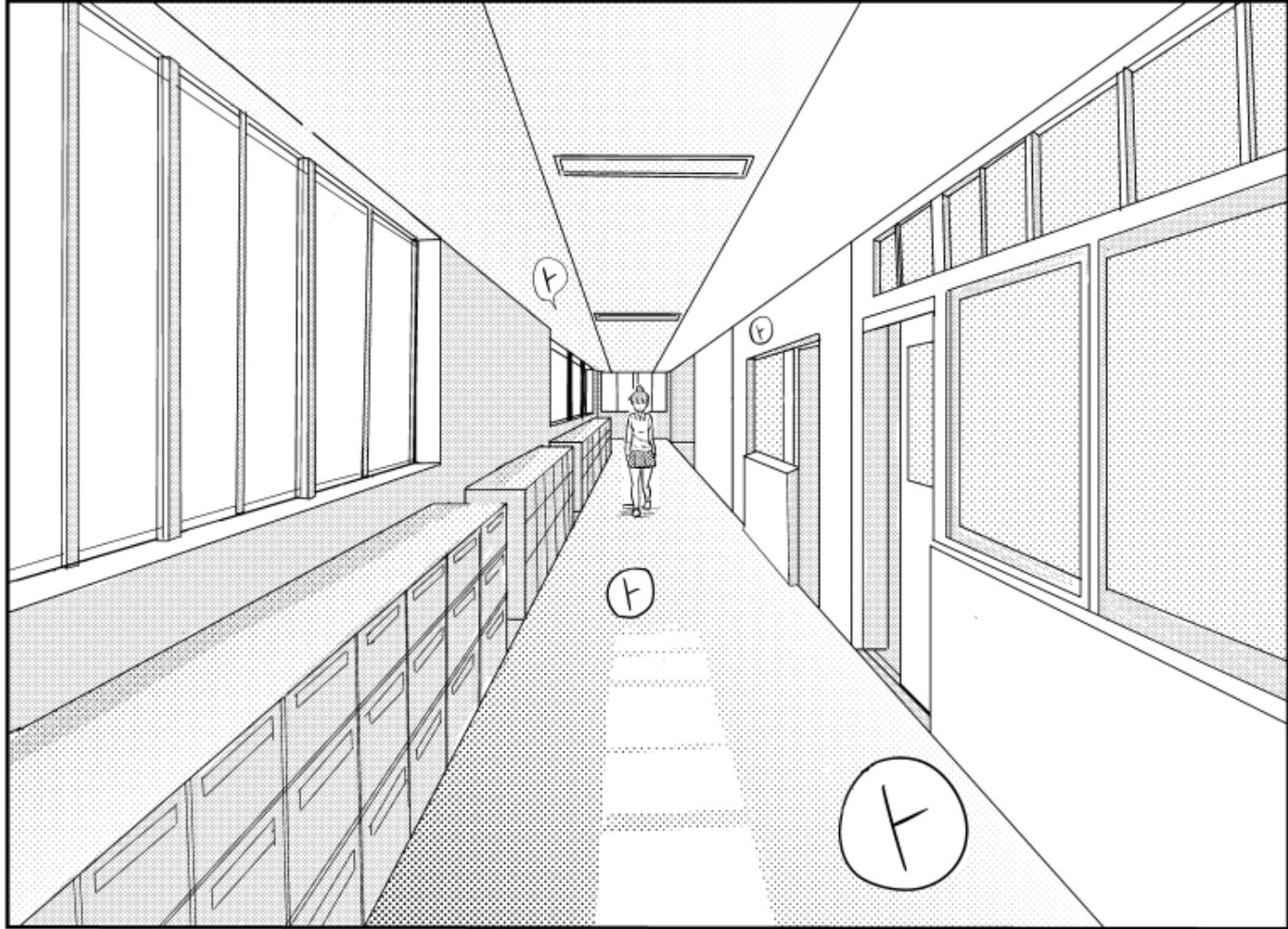
第三語…
夢かく語りき



じゃあな…
また来るよ柏木









いつも…ここに
来るたび、何か
よくわからない
不安に駆られる





違うわよ

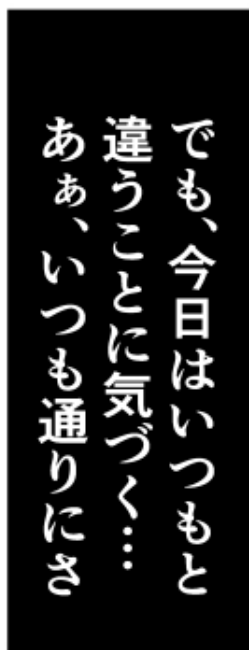
柏木もエローズの仲間なのに…

そして、いつもの顔とやりとりに、ホッと安堵する



ここは手芸部
あんたたちの拠点
じゃないってば

まだそんなこと
言っているのか



でも、今日はいつもと違うことに気づく…
ああ、いつも通りにさ



エロって響きが
良くないか？

そこが一番ダサイ！
全く、アンタらは…
……あれ？



だいたいなによ
エローズって…
ダサイわよ

そうか？
いい名前だと
思うんだけどな



…あ

気づかないフリ
してれば
良かったのに



そういえば…
本田はいないの？

ああ…本田は
いないんだ

…うん
そうなんだよ

私の幸せは、思い出と
夢の中にだけあって

今日は俺しか
来ないよ

柏木と二人で
話したいことが
あってな

悪い話じゃないさ
だからな柏木

柏木さ…俺

現実とは
違って

もうそろそろ
いいと思うんだ

ここは確かに
心地よいかも
しれないけど

そんな顔を
しないで
くれよ

でもさ、柏木

そんなことすら忘れようと
していたから…だから、
正しく優しい君は許して
くれなかつたんでしょ？

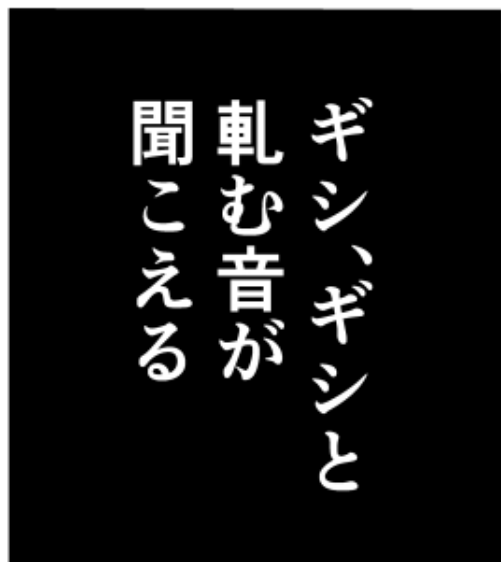


こんな場所に
いても

気休めにも
ならないぜ



…な、んのこと？
下根田…？



ギシ、ギシと
軋む音が
聞こえる



いいか？

ここはあの頃の巻き戻し
幸せな日常の再上映だ
それはさ、とても幸せな
夢なのかもしれない

だげどき柏木俺には
ここが悪夢に
しか見えないんだ

だってそうだろう？
そうはならなかった
幸せの続きはこなかった
この続きはないんだよ

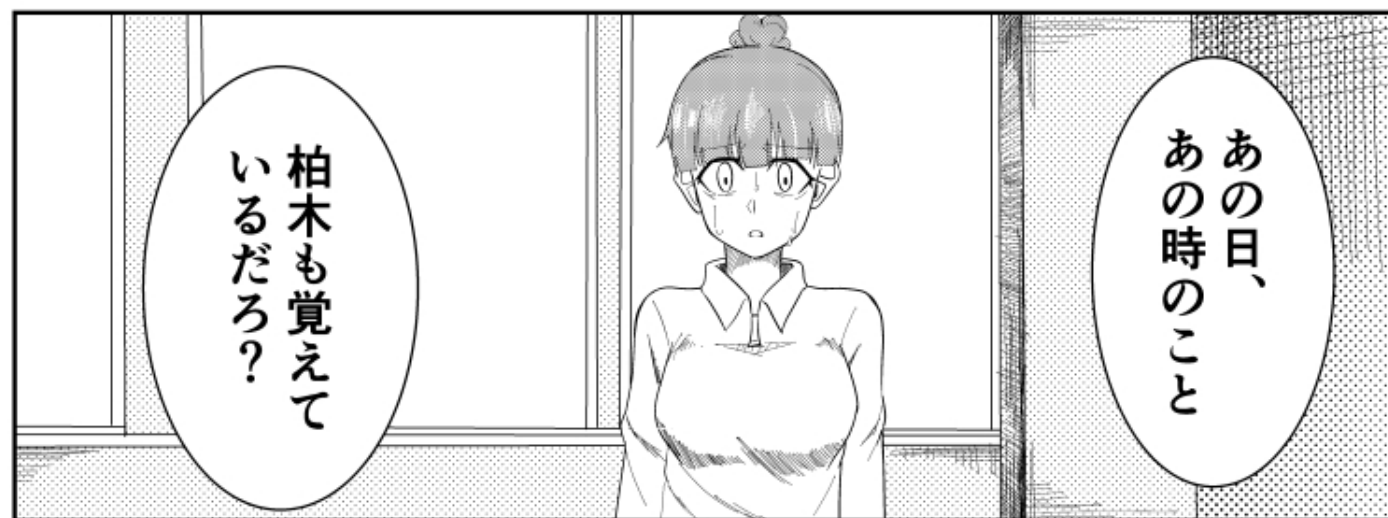
そんな停滞した幸せを
見せられるなんて、
悪い夢でしかない。なあ
柏木、ダメだったんだ

終わったから
いま、お前は
ここにいるんだ

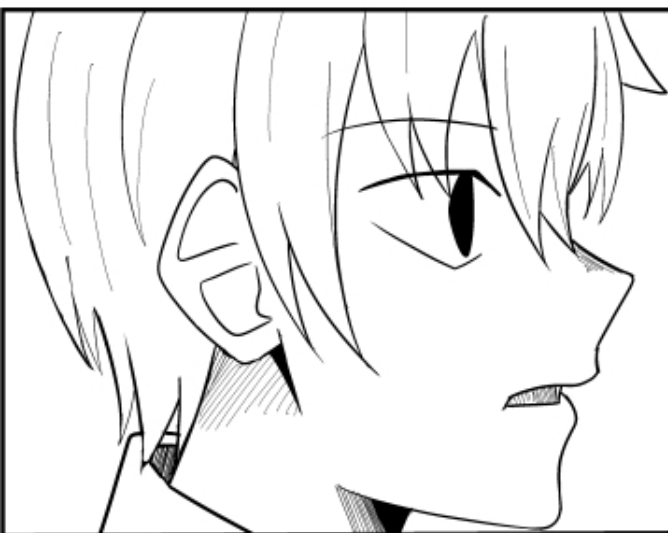
だからな
柏木

どんなに辛くても
受けとめるしか
ないんだ

ギシギシと
夢が終わる音

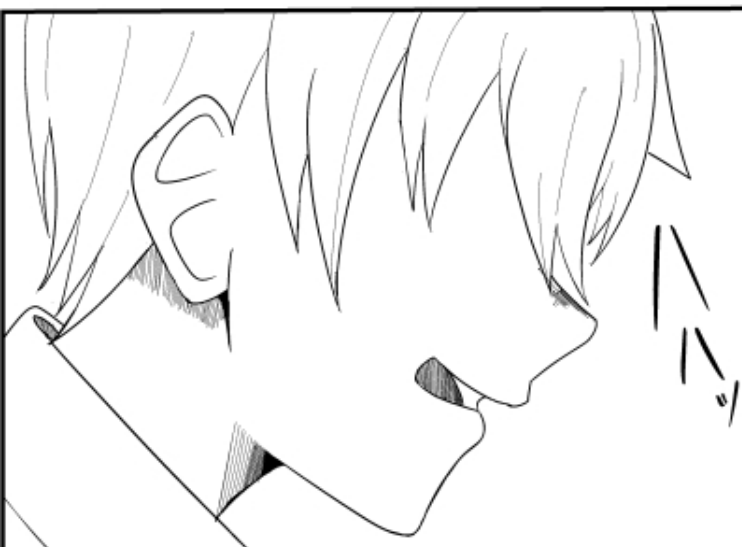






とぼけるなよ。
そうやって目を逸らし
続けてなにになる？
悲劇気取ってさ

また夢でも
見るか？



…くだらね。
そうやって拗ねてれば
また誰かが手を
差し伸べてくれるのか？

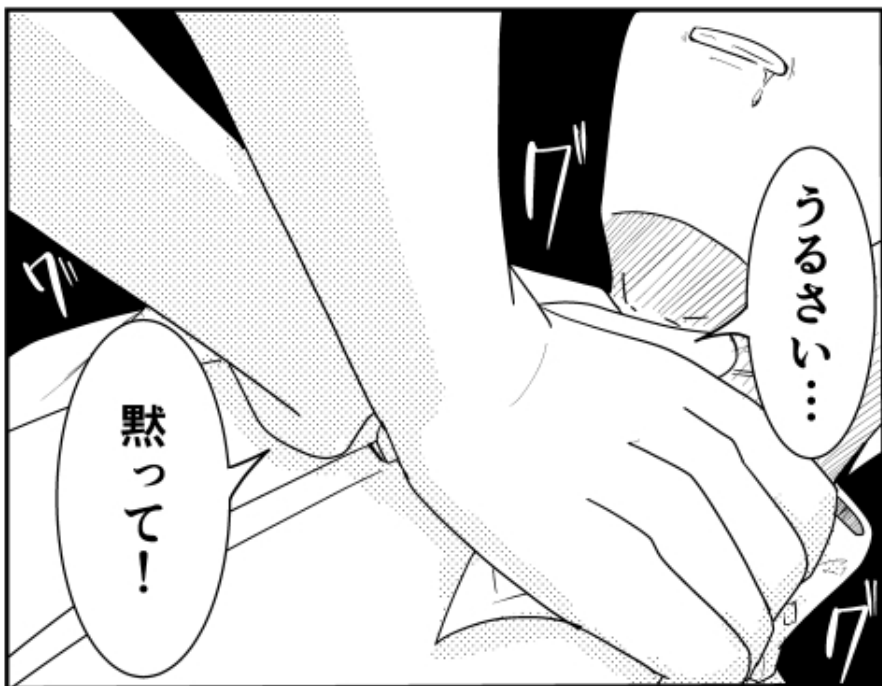


あのさ、そろそろ
向き合うべきなんだ
あんな日々じゃなくてもよ



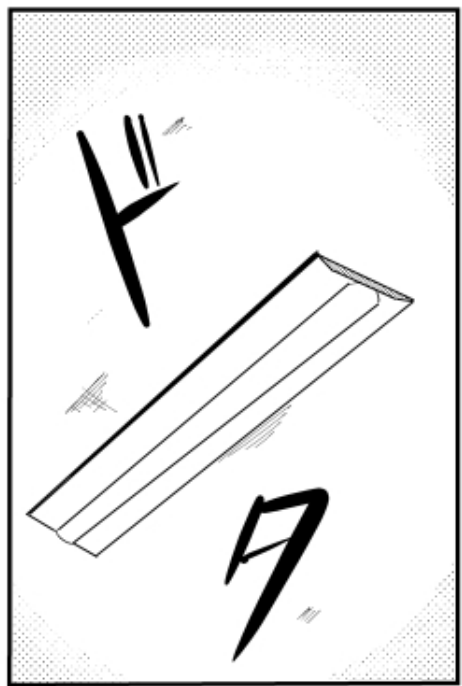
明日はそんなに
悪くは—





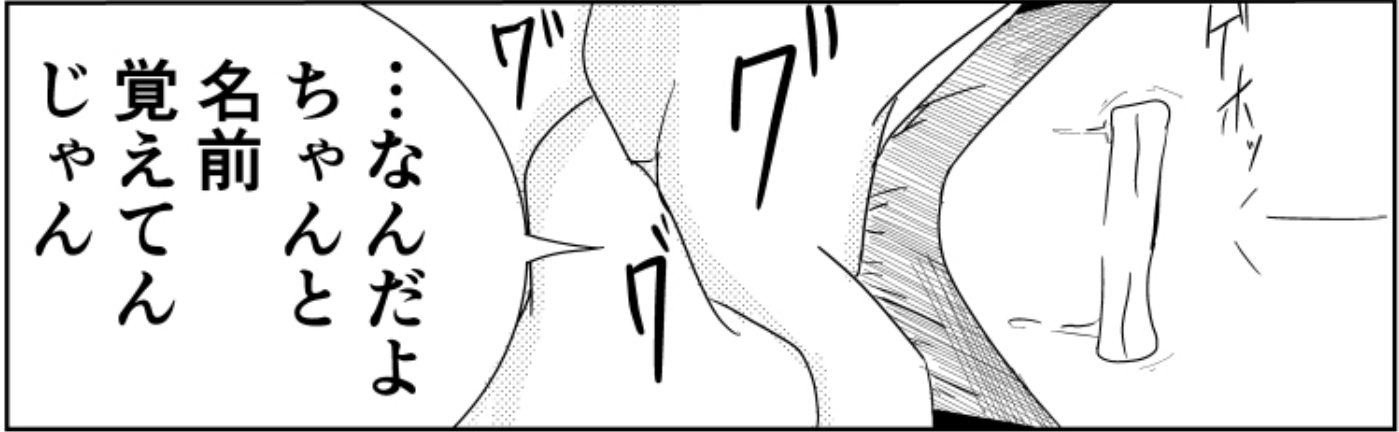
黙って！

うるせえ...

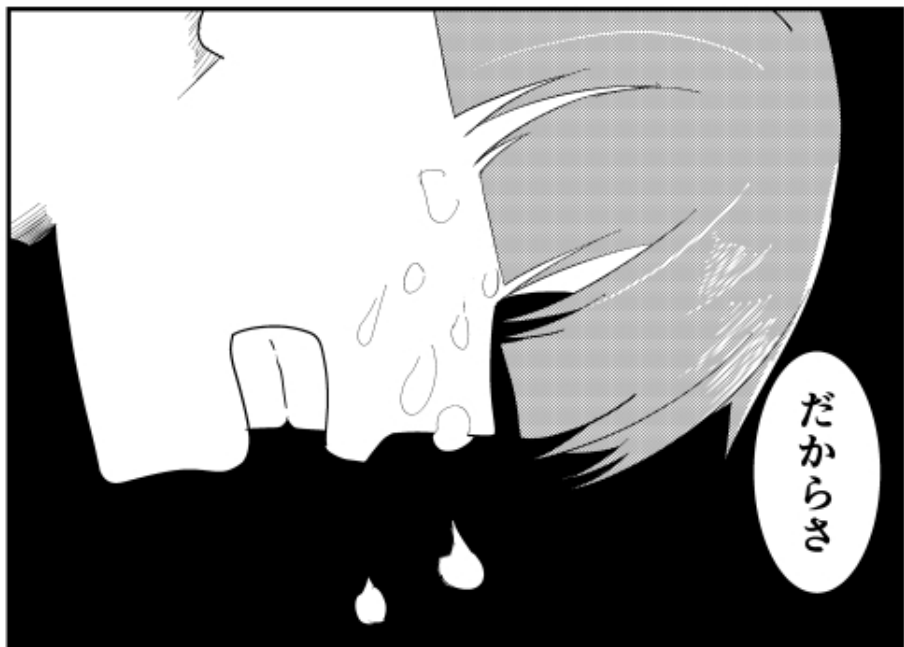


黙れ、偶像！

下田は...そんな
こと言わない！



...なんだよ
ちゃんと
名前
覚えてん
じゃん



だからさ



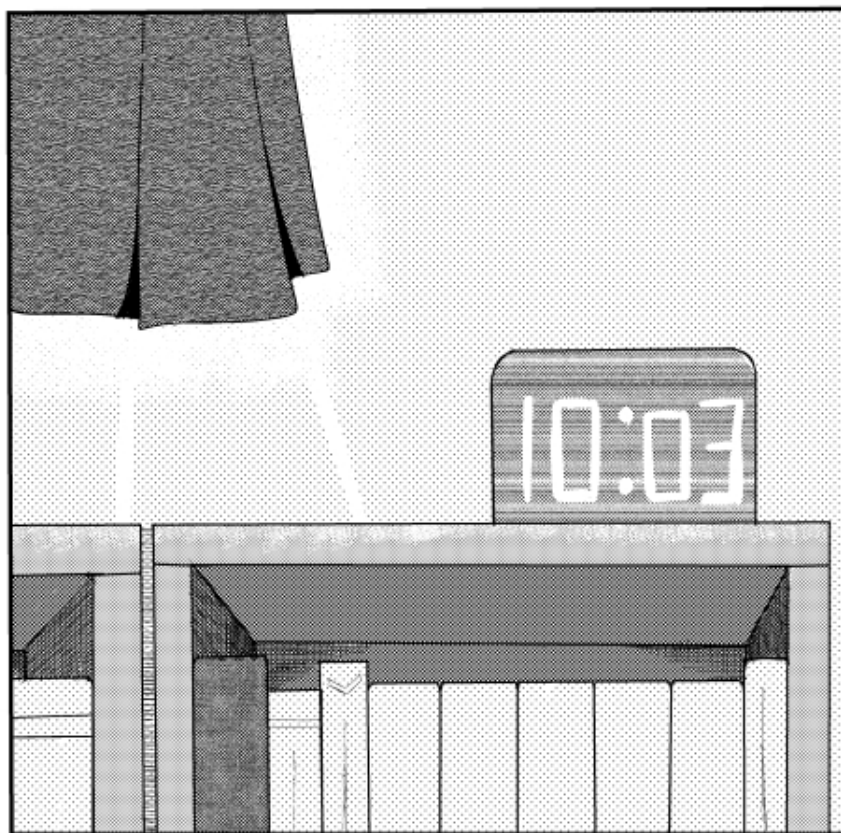
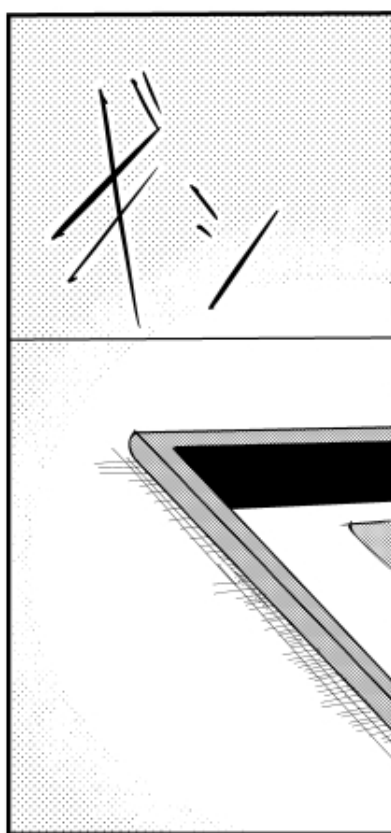
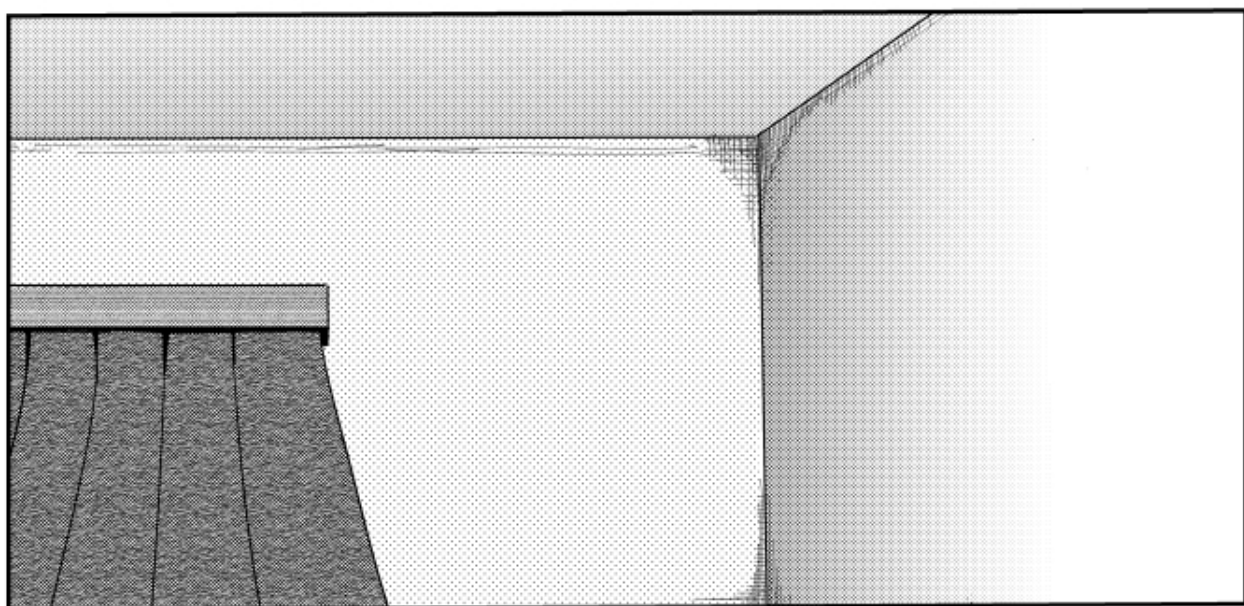
俺はさ柏木。
未来も悪くはないと
思うんだ



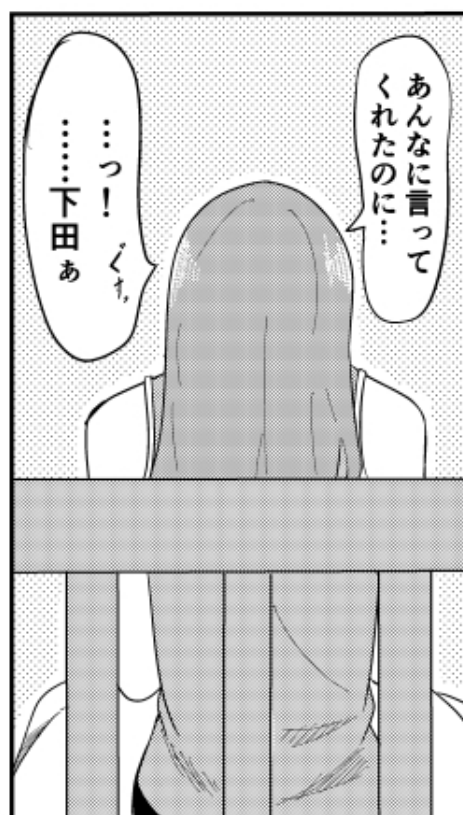
そんな顔しないで
笑っててくれよ…



必ず迎えに
来るからさ…

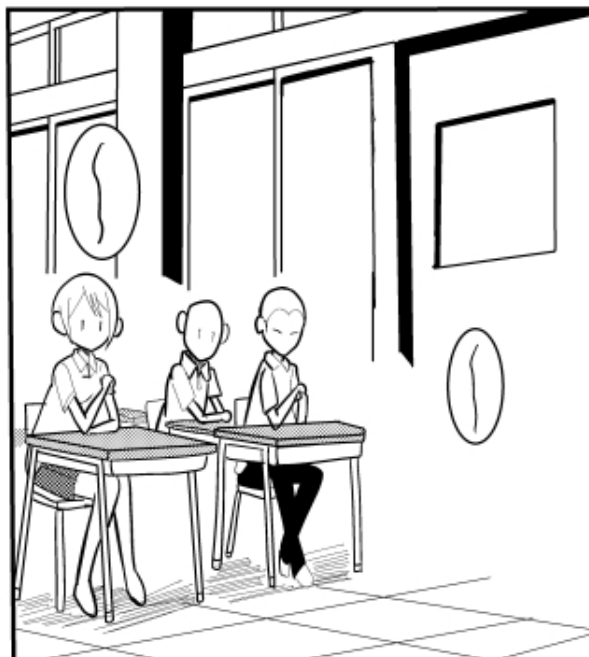
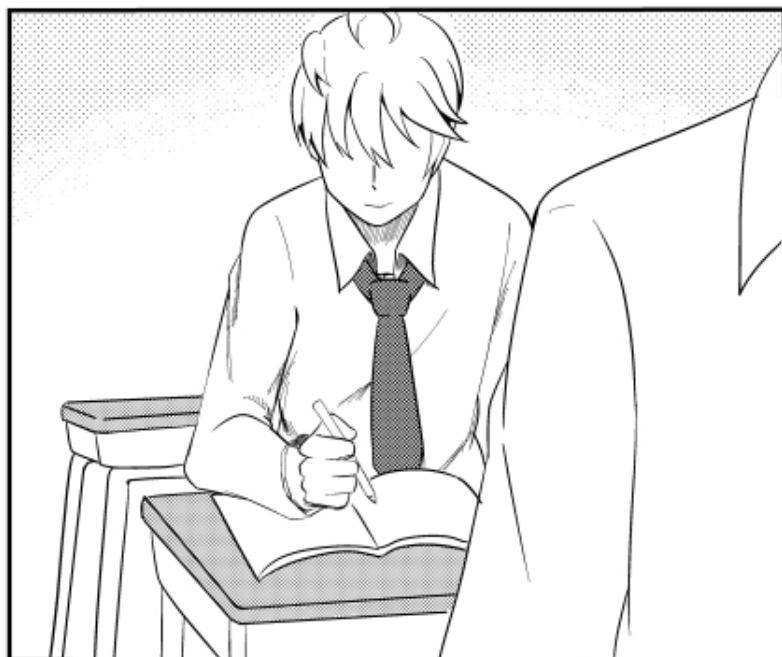








助けて…下田



続く